



自然豊かな開かれたキャンパスで送る県大LIFE

琵琶湖北東部の湖岸、彦根市八坂町にある滋賀県立大学。32haにわたる広大なキャンパスは、周辺地域の環境や景観と調和した美しいたたずまいをみせています。琵琶湖の水を引き入れた運河のような環濠(ほり)や、さまざまな風景を彩る小川、自然の沼のような池があり、さながら自然公園を思わせる快適で美しいキャンパスです。建設省(現国土交通省)の公共建築百選に大学で唯一選出されました。滋賀県立大学で送る大学生活を、滋賀の豊かな自然や文化とともに、充実したものにしてくれるでしょう。

POINT
1

地域に開かれたキャンパス

開かれたキャンパスという文字通り、キャンパスの周りには囲いがなく、立ち並ぶような高層の建物が少ないことが特徴です。

POINT
2

「環濠集落」がコンセプト

センターゾーンの周りを囲む環濠。それを取り巻くようにレイアウトされた各学部の学舎は、それぞれが一つの集落をイメージしています。

POINT
3

特徴的な建築デザイン

学部ごとに異なる学舎のデザイン。落ち着いたアースカラーと近江八幡の八幡瓦の三角屋根が緑豊かなキャンパスと調和しています。